



事故多発の美女木交差点



右折の指導線が延長



視認出来ない止まれの標識



電灯切れを改善



台風・感染症の支援レポート



小中一貫教育会派視察



リハビリ施設視察



いじめ防止キャンペーン



地元町会夏祭り



戸田マラソンハーフ完走



会派の仲間と駅頭活動



上田清司参議院議員と

24歳で政治の世界に飛び込み、以後6年間、菅原文仁議員(現戸田市長)の秘書として、地元の戸田市にて活動を始め、30歳で最年少の市議会議員として当選を賜りました。

市議会が一番身近な政治であり、その課題は私たちが普段住んでいる地域や生活の現場にあります。地域の皆さまからは、身近な道路や公園、見守りなど地域で支え合うことの大切さを学び、子育て中のお母さん方とは、育児の悩みや子どもたちの未来を共に考え、高齢者介護、障がい者などの家族や事業者の皆さまからは、将来への不安や担い手不足など厳しい現場のことを教えていただきました。

そして、消防団員として台風19号や感染症の警戒・巡視活動に従事し、市民の皆さまの生命と財産、生活を守る政策に全力を傾ける決意を新たにしました。

市民の皆さまの「声」に真摯に向き合い、誰も取り残さない、次世代にツケをまわさない、安心安全のまちを目指して、市政の発展に全身全霊を尽くしてまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

戸田市議会議員 矢沢青河

埼玉県戸田市議会  
戸田の会

2020年11月発行  
市政レポート

討議資料



本人旗で自転車街宣



荒川水循環センター視察



議会で一般質問



大野知事、菅原市長と連携

現職最年少

34歳

戸田市議会議員  
はるか  
やざわ青河

無所属

謙虚に、誠実に、  
一生懸命取り組みます。



皆様のご支援を決して忘れません

同じ目線で皆さんの声に向き合い、共に悩み考えながら一つひとつの課題に取り組みます。住み良く希望が持てる戸田市を目指し、一生懸命動きます。

すぐに動ける政治家を  
目指します。



定期的な駅頭活動を欠かさず実行

台風19号や感染症では、いち早く被害や支援情報をレポートにまとめ、駅や地域で市政報告を配布しました。今後、もすぐに動ける政治家を目指します。

未来を見据えた  
政策を進めます。



菅原市長と政策について打ち合わせ

子どもたちへ、より良い環境を残すためにも、私たちの世代が責任を持たなければなりません。しがらみにとらわれぬ、未来を見据えた政策を進めます。

はるか  
やざわ青河 プロフィール

- 1986年5月21日生(34歳) ■茨城県つくば市出身 ■茗溪学園、鹿児島大学卒業 ■ラチオつくば
- 県議秘書7年(菅原文仁現市長) ■戸田市議会議員(無所属) ■会派「戸田の会」健康福祉・議会運営等
- 消防団(第七分団所属) ■防災士 【趣味】フットサル、読書(歴史小説) 【好物】ラーメン、パン

住所 戸田市美女木1-15-9-409 メール mail@yazawaharuka.com

電話・FAX 048-871-6391 WEBサイト https://yazawaharuka.com



f 矢沢 青河

Instagram yazawa\_haruka



## 子育て

### 第3子以降の給食費減免や産後ケアの推進を

多子世帯の応援として給食費減免を提案し、2019年度より**第3子以降の給食費の半額補助が開始**しました。更に、妊産婦の身体的経済的な負担軽減や不安解消のため、**使いやすいヘルパー事業や産後の延泊等の宿泊型支援、産婦健診への助成や産婦全員へのEPDS※の実施**などを提案しました。今後も、負担の大きい育児支援や相談・情報提供の体制強化を進めます。

※EPDS:エジンバラ産後うつ評価票。産後うつ早期発見のため行う10問程度のスクリーニング検査。



## 障がい者支援

### 障がいへの理解促進と支援の拡充を

障がい者福祉の課題の多くは、障がいに対する理解不足に端を発すと考えています。子どもの頃からの共同学習や、実習生・学生と事業者との交流を促進することで、介護の担い手不足解消や障がい者雇用、親なき後の支援者の確保に繋がります。

更に**緊急時の預かり対応、18歳以降の障害者の居場所の確保**などを提案しました。今後も誰もが暮らしやすいまちを目指します。



## 防犯

### 防犯カメラで子どもの見守り強化を

戸田市の犯罪率は2019年、県内ワースト7位。先進自治体の視察調査を行い、効率的でコストが抑えられる市管理・運用の防犯カメラの増設や、犯罪抑止効果がある周知啓発看板の設置などを提案しました。2021年、**市内全小学校区に市運用の見守り防犯カメラ300台が設置**されます。今後は、位置情報タグ「otta」による子どもの見守りや高齢者の徘徊、自転車盗対策等を推進します。



## 環境対策

### 資源ごみ持ち去りやプラスチックごみ対策を

市内各所で被害がある資源ごみの持ち去り対策として、GPS追跡調査を提案しました。更に、年間26t以上ある市内のポイ捨て対策として、世界的な課題であるプラごみの海洋汚染防止の周知啓発を進めています。一方、プラごみ分別回収は、市民や処理場の仕分けの手間やリサイクル率の低さから廃止している自治体も多く、**熱リサイクル可能な焼却炉の新設と非効率なプラごみ分別回収の廃止を提案**しました。



## 医療

### 肺がん検診への低線量CT導入を

がんの中でも死亡数が最多の肺がんは、5年生存率もⅡ期で5割以下と圧倒的に低く、早期治療が必要ながんです。しかし、日本の肺がん検診は感度の悪い胸部X線を採用しているため、早期発見率は約3割と低く、都内では検診の見落としによる死亡事例もありました。そこで、肺がんの発見率が胸部X線の10倍で世界的な標準である低線量CTの導入を提案し、**戸田市で肺がんCT検診の比較研究が実現**しました。



## 消防救急

### 戸田市の消防職員と救急救命士の増員を

戸田市の消防職員定数は平成5年139名に改正後、25年間増員がありません。当時と比較して戸田市は人口は1.5倍、救急件数は2倍以上増加しており、近隣市と比較しても人口に対する職員数が少ないことから、消防職員と救急救命士増員を提案しました。

2019年に**職員定数が168名に改正**され、救急隊増隊に向けての職員増員や車両整備が進められています。



## はるか やざわ青河 これまでの 提言

市議会議員となってから1期4年間。皆さまから頂いたお声をもとに、戸田市政の課題解決に取り組んでまいりました。誰もが安心して暮らせるまち、未来の子どもたちが希望を持ち健やかに成長できる社会の実現のために、これからも全力を尽くしてまいります。



## 業務効率化

### LINEやAI、RPAで効率的な自治体行政を

限られた財源や人材の中、多様化する市民ニーズに応えるには、行政のデジタルシフトが不可欠です。AIやRPAによる業務効率化を始め、**行政手続きや支払い、相談、情報発信などLINEで完結できるデジタル行政の導入**を提案しました。更に、毎年1億円の赤字があるtocoバスの経路データ(GTFS)の試案を作成・提供し、平成31年度**Googleマップ等の経路検索が実現**しました。



## 健康長寿

### 地域の通いの場で、高齢者の介護予防促進を

戸田市の健康寿命※は、2019年、男性が16.7年で県内62位、女性が19.9年で県内56位と低い状況です。介護予防を推進するため、元気体操やグランドゴルフ、バトロール等の地域活動への加入促進を始め、サークルや各種団体、民間などの通いの場についての情報提供、高齢者の多剤処方などの健康対策について提案しました。今後は、**要介護度改善やアウトリーチの介護予防を進めます**。

※健康寿命:65歳の方が要介護2以上になるまでの平均的な年数



## 防災

### 水害の広域避難計画や業務継続計画の策定を

荒川氾濫時に市内全域が水没する戸田市において、高齢者や要配慮者等が当日、市外の高台へ広域避難するのは困難です。更に、戸田市は水害時の業務継続計画(BCP)※が未策定で、災害対応や復旧等の業務が継続できないリスクがあります。そこで、**江東5区で実施している独自の水害時広域避難計画やBCP策定**、数日前の親戚や知人、会社等への広域避難の啓発を提案しました。

※業務継続計画(BCP):災害発生時、人材や資材に制約がある状況下でも、適切に業務を進めるために備えておく計画



## 安心安全

### 自転車や危険な交差点等の交通安全対策を

戸田市の自転車死傷者率は2017-2019年、県内ワースト5位。自転車の安全利用促進のため、自転車道の延伸や違反者への直接指導を提案し、**美笹地区の自転車道が整備**されました。更に、倒壊の危険のある標識等の点検整備や、交差点の安全対策等を提案し、プロック塀の撤去等の補助の新設、通学路や散歩コース等の点検が行われ**危険な交差点等100か所の対策が進んでいます**。



## 財源確保

### 低い収納率の対策と非効率な事業の見直しを

戸田市の収納率は2018年度、個人市民税が県内58位と低い状況です。納付しやすい環境整備や滞納対策の強化、事業へのふるさと納税「クラウドファンディング」を提案し、**スマホ決済の導入や台風19号では彩湖・道満への寄付**が行われました。更に、夜間の不法投棄回収や放置自転車回収、し尿処理戸別集金など、コストや効果を意識した見直しを提案し、**予算削減が実現**しました。

